

平成30年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査の結果について

本調査は、文部科学省が実施した「平成30年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」に基づき、神奈川県教育委員会が「平成30年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査」として独自に調査する項目を加え、県内全公立小・中・高等学校及び特別支援学校を対象に実施しました。

1 調査内容（調査対象）

※小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

(1) 暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）

※神奈川県教育委員会独自の調査項目

「暴力行為を5回以上繰り返す児童・生徒の状況」

(2) いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会）

※神奈川県教育委員会独自の調査項目

「いじめの現在の状況（令和元年7月19日現在の状況）」【新規】

(3) 長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）

(4) 長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）

(5) 中途退学者等の状況（公立高等学校）

(6) 自殺の状況（公立小・中・高等学校）

(7) 出席停止の状況（市町村教育委員会）

(8) 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

2 調査結果

(1) 公立学校分 資料1（調査結果の概要1）及び資料2（公調査結果の概要2）のとおり